

講談社の
テレビ絵本
1594

プリキュアオールスターズ

おともたち
おみせかせ
絵本シリーズ

名作えほん

2



しらゆきひめ



おおきな かぶ



プリキュアと いっしょに めいさくの せかいへ!

♥おうちの方へ♥

お子さんの大好きなプリキュアたちが
物語の登場人物になることで、お話をより
身近に感じてもらえるでしょう。物語
に興味をもったり、絵をながめながら文
字を見えたりすることによって、名作の
世界に親しむきっかけにしてください。



うさぎちゃん、きょうは……



おはよう、おはよう……

おうち

おおきな かぶ

いぬ



くろがわ
エレン

こども



しらべ
アコ

おばさん



みなみの
かなて

おじさん



ほうしょう
ひびき

ねずみ①



ひかし
せつな

ねずみ②



あおの
みき

ねずみ③



やまがし
いのり

ねこ



ももこの
うみ

しらゆきひめ

こびと③



よつば
ありす

こびと②



ひしかわ
りっか

こびと①



あいだ
まな

しらゆき
ひめ



まどか
あぐり

こびと⑦



あおもり
ゆうこ

こびと⑥



しらゆき
ひめ

こびと⑤



あいの
めぐみ

こびと④



けんぞき
まこと

しらゆきひめ

おうちの人々



おおきな かぶ

あるひ、
おじさんが はたけに
かぶの たねを まきました。
「あまい かぶに なあれ。
おおきな かぶに なあれ。」
まいにち、みずを かけて
だいに そだてました。

すると、
とても おおきな
かぶが できました。
おじさんは、
さっそく かぶを
ぬいづつ しました。
「うんちいしょ。
どっこいしょ。」
ところが かぶが
おおきすぎて、
ひとりでは ぬけません。



そこで、
おじさんは
おばさんを
よんで、きて、
てつだって
もらうことに
しました。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
おじさんと
おばさんは、
ちからを
あわせて
ひっぱりました。
しかし、
かぶは
ぬけません。



そこで、おぼさんは
こどもを よんで きて、
てつたって もらう
ことに しました。
こどもが おぼさんを
ひっぱって、おぼさんが
おじさんを ひっぱって、
おじさんが かぶを
ひっぱります。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
それでも、
かぶは めけません。



こんどは、こどもが
いぬを よんで きました。

いぬが こどもを

ひっぱって、

こどもが おばさんを

ひっぱって、おばさんが

おじさんを ひっぱって、

おじさんが かぶを

ひっぱります。

「うんとこしょ。

どっこいしょ。」

まだまだ

かぶは、ぬけません。



そこで、いぬは、ねこを
よんで、きました。
ねこが、いぬの
しっぽを、ひっぱって、
いぬが、こどもを
ひっぱって、こどもが
おばさんを、ひっぱって、
おばさんが
おじさんを、ひっぱって、
おじさんが
かぶを、ひっぱります。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
どうしても
かぶは、めけません。



それで いよいよ
ねこが、ねずみたちを
よんで きました。
ねずみたちが、ねこの
しっぽを ひっぱって、
ねこが いぬの しっぽを
ひっぱって、いぬが
こどもを ひっぱって、
こどもが おばさんを
ひっぱって、おばさんが
おじさんを ひっぱって、
おじさんが かぶを
ひっぱります。
「れっ！ なって、
ちからを いれます。
「うんとこじょー
どっこいしょー
うんとこじょー
どっこいしょー」

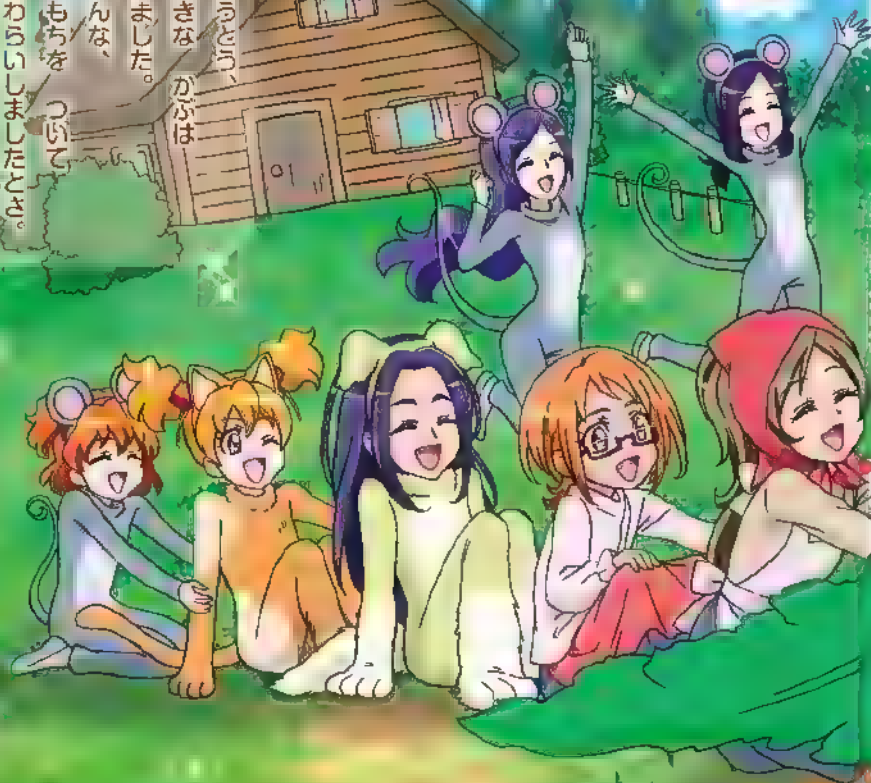


すっぽん!

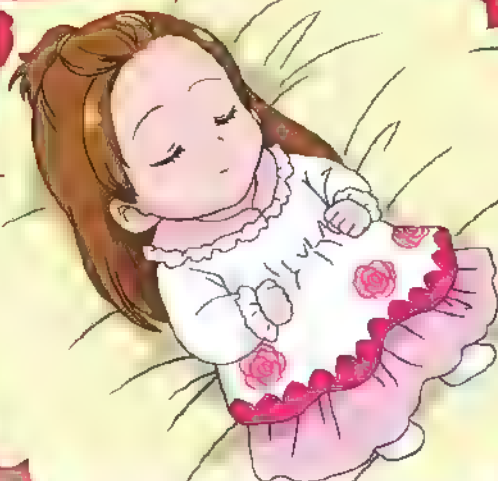


「どうさ
び」
おおきな
かふは
ぬけました。
みんな、
いりもちを
ついて
おわりましたとら。

(おわり)



しらゆきひめ



むかしある

くにのおしろで

かわいいおんなの

あかちゃんが

うまれました。

ゆきのように

いろがしろいので

しらゆきひめと

なまえが

つけられました。

やがて

おかあさんの

おきさきさまが

なくなつてしまひ

あたらしい

おきさきさまが

やうでまきました。

あたらしい

おきさまさまは

きれいなひとでしたが、
とても いじわるでした。

まほうの かがみを

もって、いて、

いつも じぶんの

すがたを うつします。

一かがみよ、かがみ。

このくにで いちばん

うつくしいのは、だあれ？」

すると、かがみが

こたえます。

「いちばん

うつくしいのは、

おきさまさまです。」

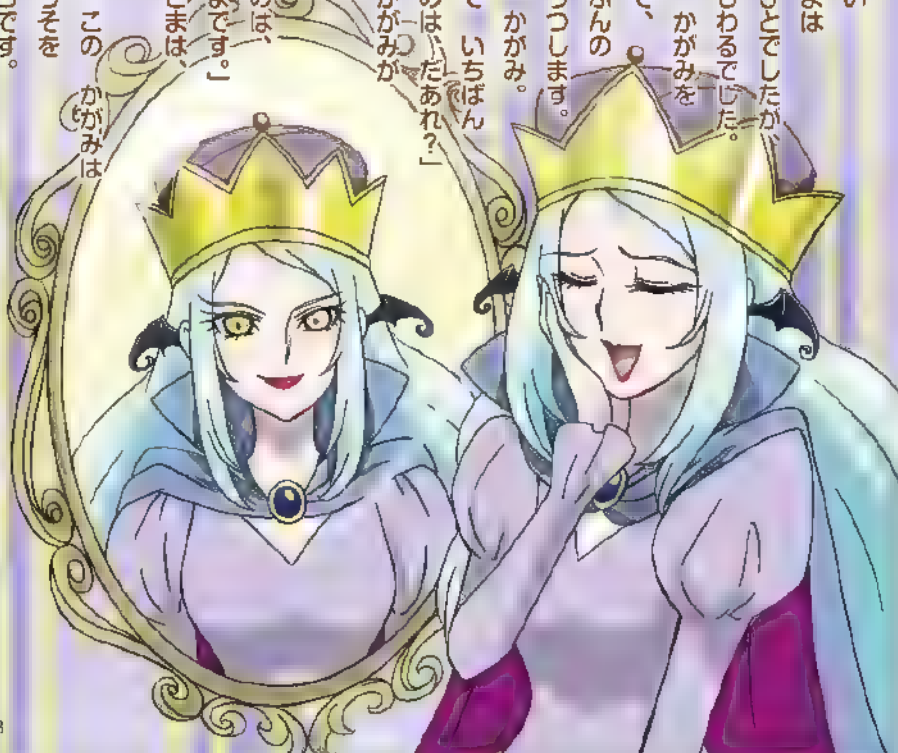
おきさまさまは、

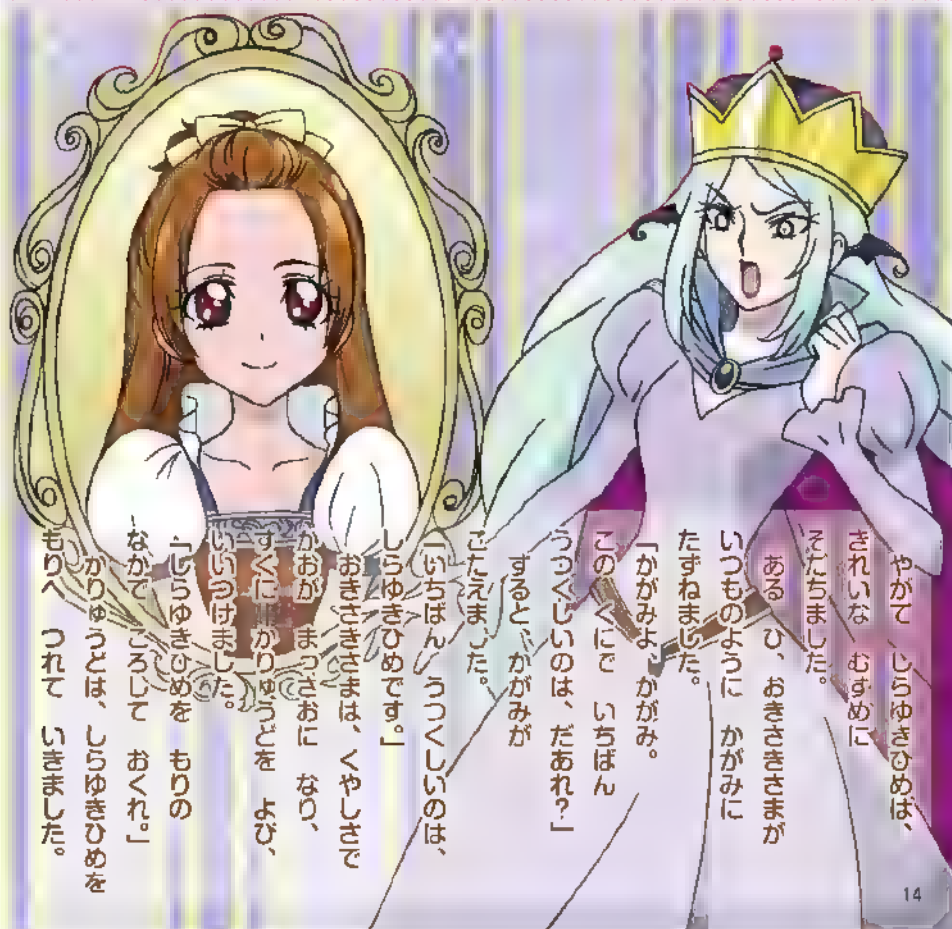
うつとり。

なぜなら、この かがみは

けっして うそを

つかないからです。





やがて しらゆきひめは、

きれいな むすめに

そたちました。

ある ひ、おきさきさまが

いつものように かがみに

たずねました。

「かがみよ、かがみ。

このくんで いちばん

うつくしいのは、だあれ？」

すると、かがみが

こたえました。

「いちばん うつくしいのは、

しらゆきひめです。」

おきさきさまは、くやしきで

かがまっさおに なり、

すぐに かり使つたを よび、

いらいけました。

「しらゆきひめを もりの

なかで ころして おくれ。」

かりゆつとは、しらゆきひめを

もりへ つれて いきました。

「かおるそとに

おひめさま。」

かりゆきさま、

ごきげん

しらゆきひめを

にがして、やりました。

ひとりぼっちの

しらゆきひめは、

じふんぼりと、せりの

おふく、あふくと

あるいて、いきました。

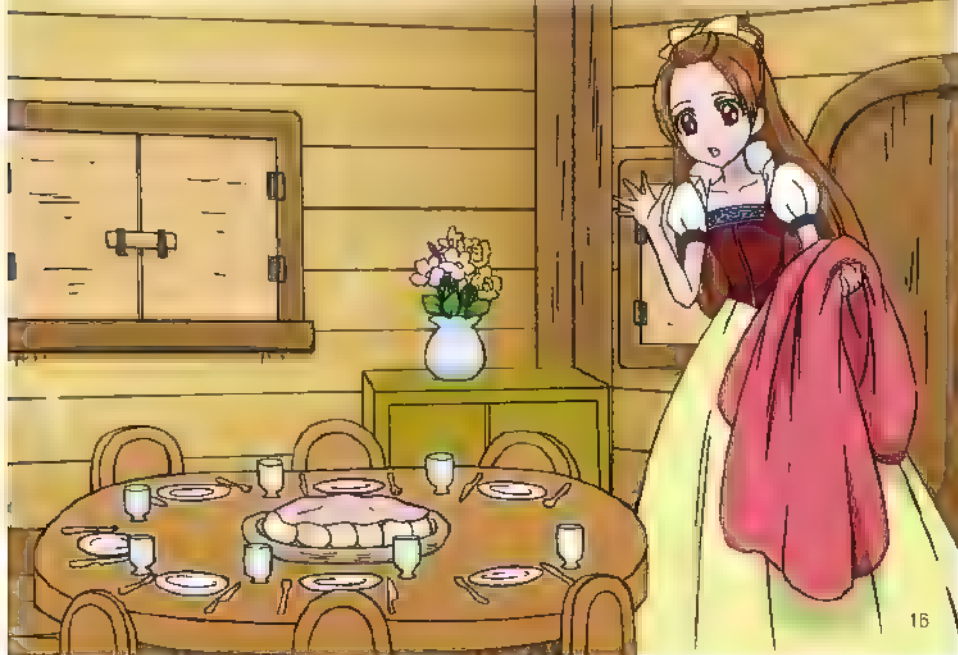
すると、「げんの

ちいさな いえを

みつめました。」



いえの なかには
テーブルが あつて、
七まいの おさらと
七つの 「コップ」。
おくには
七つの ヘッドが
ならんで います。
つかれて いた
しらゆきひめは、
ベッドへ
もぐりこみました。
しらく すると、
いえに 七にんの
こびとが もどつて
きました。
「ここは、
こびとたちの
いえだったのです。」





「こびとたちは、ねむって

いる。しらゆきひめを

みて、おどろきました。

つぎの、あさ、

こびとたちは

しらゆきひめから

これまでのことを、きき、

きのどくに、おもいました。

そして、ここで

いっしょに、くらそじと

いいました。

しらゆきひめは、

こびとたちのために、

そうじを、したり、

せんたくを、したり、

りょうりを、つくりました。

こびとたちは、

しんせつで、うつくし

しらゆきひめが

たいすきに、なりました。

ある ひ、おきさきさまが

いつものように

かがみに たずねます。

「この くにて いちばん

うつくしいのは、だあれ？」

「いちばん うつくしいのは、

もりて せにんの こびとと

くらす しらゆきひめです。」

おどろいた

おきさきさまは、ものうりの

おばあさんに ばけて、

こびとの いえへ

むかいました。

「くじは いらんかね。」

しらゆきひめは、

おきさきさまを

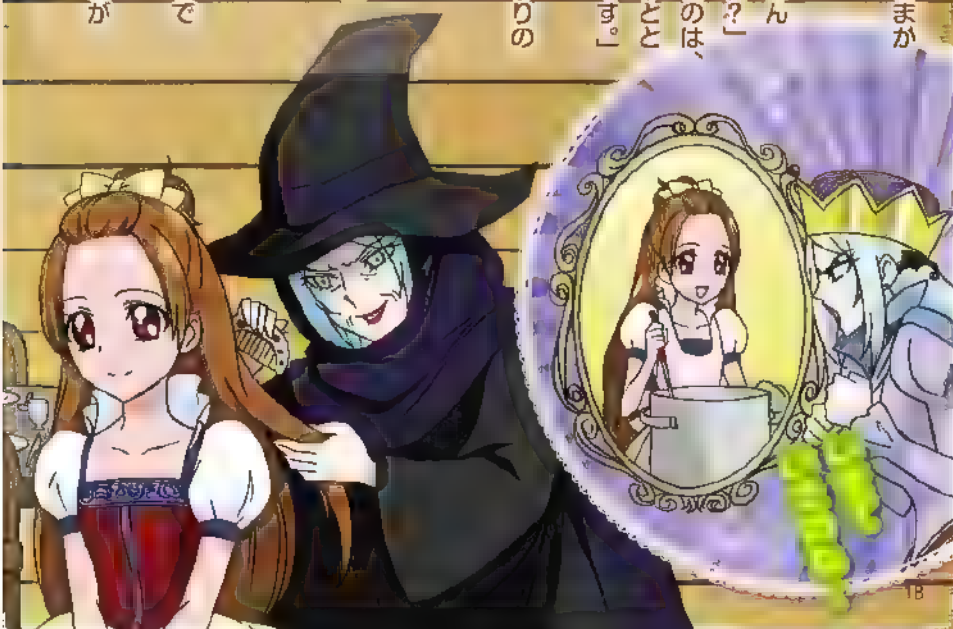
いえへ いれました。

おきさきさまが くして

かみを すくと、

とだんに しらゆきひめが

たおれました。

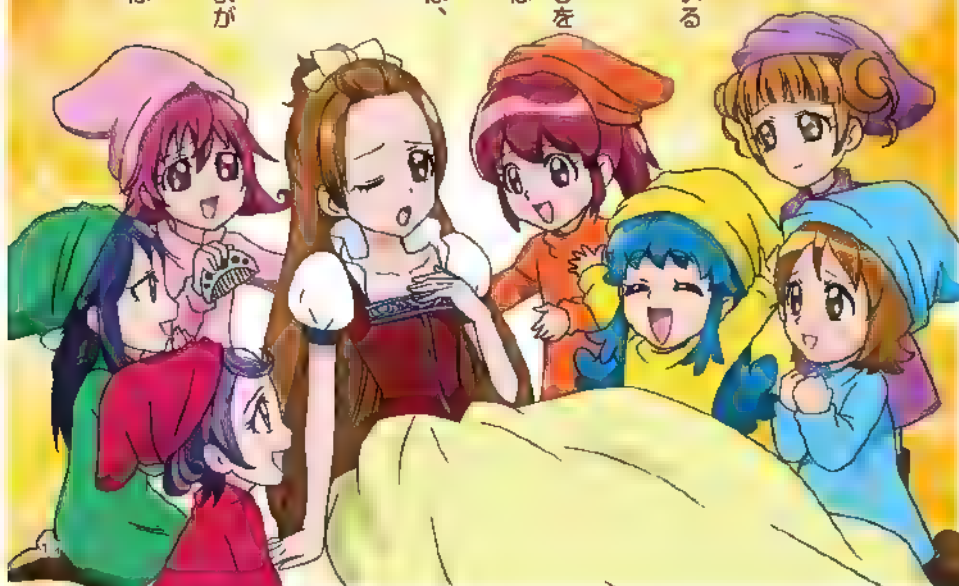


その くしには、
おそろしい ところが
ぬって あったのです。

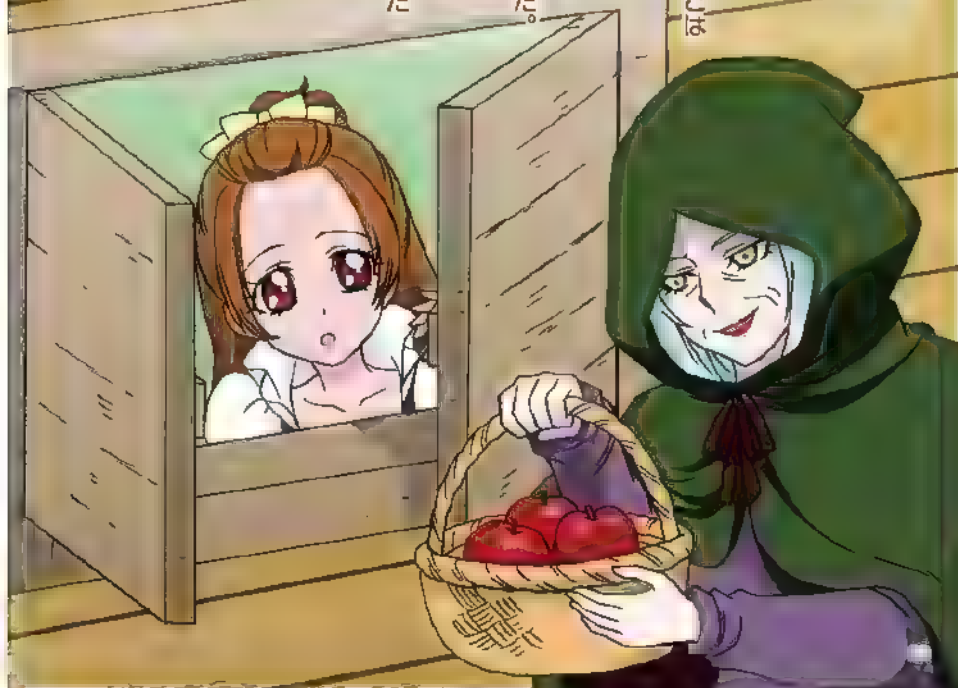
しごとから もどった
こびとたちは、たおれて いる
しらゆきひめを みて
おどろきました。

かみから すばやく くしを
ぬきとると、しらゆきひめは
いきを ふきかえました。
つぎの ひ、こびとたちは、
「だれが きても いえに
いれては だめだよ。」
と いって、

しごとへ いきました。
おしろでは、おきさきさまが
かがみに たすねます。
でも、やつぱり こたえは
「しらゆきひめ」です。



おきさきさまは
おこり、こんどは
りんごうりの
おばあさんに
ばけました。
「おいしい りんごは
いらなかね。」
しらゆきひめは
まどから そつと
のぞいて みました。
おきさきさまが
まどの そとから、
はんぶん に わった
りんごを
しらゆきひめに
わたします。
そして、
もう はんぶんを
おきさきさまが
たべました。





あんどんじた
しらゆきひめは、
りんごをばぐり。
たちまち たおれ、
しんでしまいました。
その りんごは、
しらゆきひめが
たへた はんぶんだけに
とくが めつて
あつたのです。



こびとたちは かなしみ、
なきつづけました。

カラスの はこに

しらゆきひめを ねかせて、
けしきの いい ところに
おきました。

ある ひ、となりの くにの
おうじさまが とおりかかり、
ガフスの はこを みつけます。

おうじさまは、

こびとたちから

しらゆきひめの かなしい
できごとを ききました。

「この うつくしい ひめを、
わたしに ください。」

おうじさまが

いっしょうけんめいに

たのむので、こびとたちは

しらゆきひめを わたしました。

おうじさまが くに入
かえる とちゅうで、

はこを はこぶ

けらいが、

きに つまずいて

ころびそうに

なりました。

はこが がくと

ゆれた その とたん、

しらゆきひめの

のどから、

どくりんこが ぼろんと

とびだしました。

すると

しらゆきひめが、

はつちりと

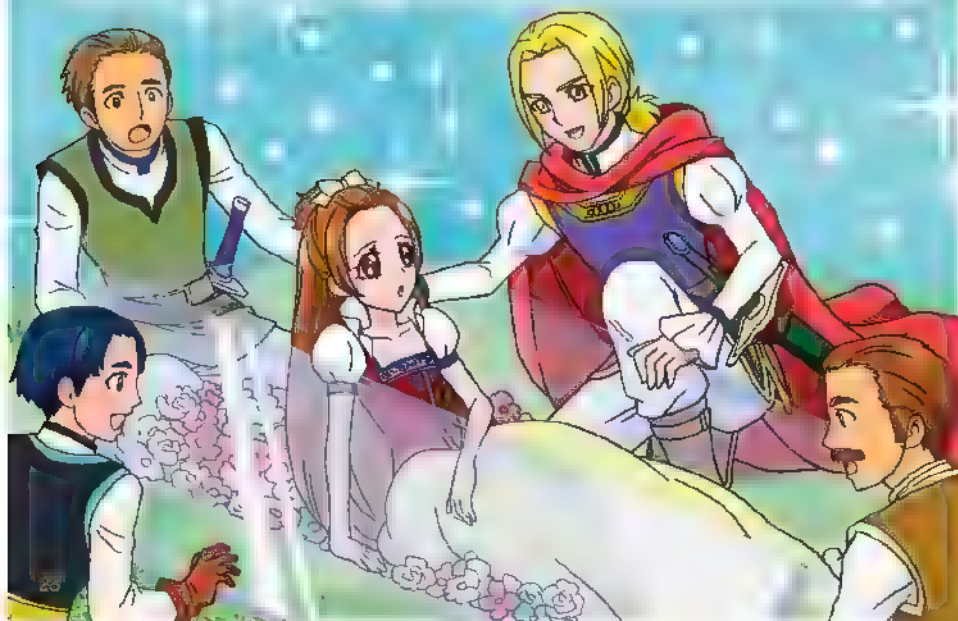
めを あけたのです。

「おー、ひめが

いきかえった！」

おうじさまは

よろこびました。



「わたしの つまに なって ください。」
「はい、おひいさま。」

くへへ かえると、おうじさまと しらぬきはじめの
おいわいの パーティーが ひらかれました。
パーティーには、七にんの こびとも しやうたいされました。
そして、ふたりは なかよく しあわせに くらしました。

(おわり)



おはなしの なかで かつやくした おんなの こが プリキュアに
へんしんよ! だれが どの プリキュアに へんしんするのかしら?

おん
な
の
こ



おはなしの なかには おんなの こが プリキュアに へんしんするのかしら?



プリキュアが おはなしの
しゅじんこうに なるよ!



名作えほんシリーズ

プリキュアオールスターズ 名作えほん①

くるみわりにんぎょう さんの がちょう

- ♥ハビネスチャージプリキュア!
- ♥Yes! プリキュア5 Go Go!
- ♥ふたりは プリキュア スプラッシュスター
- ♥ふたりは プリキュア マックスハート

プリキュアオールスターズ 名作えほん②

おおきな かぶ しらゆきひめ

- ♥ドキドキ!プリキュア
- ♥スイートプリキュア♪
- ♥フレッシュプリキュア!
- ♥ハビネスチャージプリキュア!

プリキュアオールスターズ 名作えほん③

こんぎょひめ こびとの くつや

- ♥スマイルプリキュア!
- ♥ハートキャッチプリキュア!
- ♥ハビネスチャージプリキュア!

プリキュアが
ぜんいん
とうじょう!

講談社のテレビ絵本 1594

おともだち よみきかせ絵本シリーズ図
プリキュアオールスターズ
おおきな かぶ しらゆきひめ

2014年8月30日 第1刷発行

■発行所 持田克己

■発行所 株式会社 講談社

東京都文京区番町2-12-21 (〒112-8001)

■印刷・製本/ 図書印刷株式会社

■絵/ 東映アニメーション

■構成/ 秋谷美可 ■デザイン/ バッドピーンズ

©ABC・東映アニメーション

名作えほん②

雑誌 64002-80

ISBN978-4-06-344594-7

C9474

Printed in Japan

著丁本・改訂本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部(電話03-5335-3636)までにお送りください。
資料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせは、プリスクール第二出版部(おともだち)までにお願いたします。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁止されています。本書を代行業者等の第三者に複製してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内での利用でも著作権違反です。

※予想外の事故(紙の破れで字や色を傷つける等)防止のため、保護套の方針書籍の取り扱いにご注意ください。

本作品は、2014年6月、小社より講談社のテレビえほん（おともだち）として刊行されたものを電子書籍化したものです。

◎本電子書籍内の外部リンクに関して

ご利用の端末によっては、リンク機能が制限され正しく動作しない場合があります。また、リンク先のwebサイト、メールアドレス、電話番号は、事前のご連絡なく削除あるいは変更されることもございます。ご了承ください。

プリキュアオールスターズ 名作えほん②

おおきな かぶ

しらゆきひめ

2016年3月1日発行

絵 東映アニメーション

構成 萩谷美可

デザイン パッドビーンズ

©ABC・東映アニメーション

発行者 清水保雅

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽 2-12-21

〒112-8001

□本電子書籍は、購入者個人の閲覧の目的のためにのみ、ファイルの閲覧が
許諾されています。私的利用の範囲をこえる行為は著作権法上、禁じられて
います。